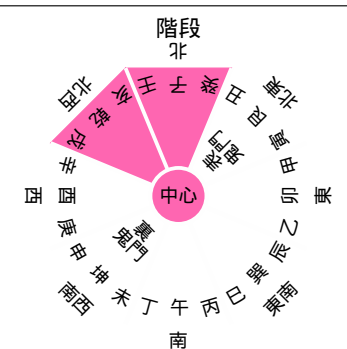
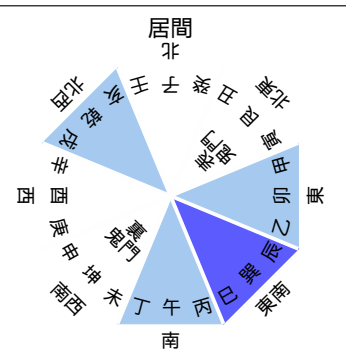


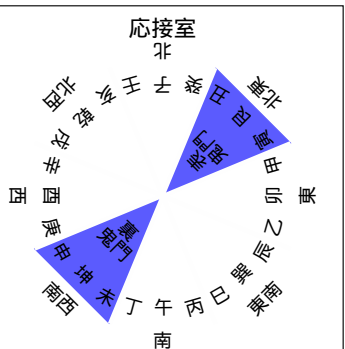
東南の玄関は吉相中の吉。だが、その方位に主人の生まれ星があつたら凶相に転ずる。正中線・四隅線が玄関の開閉する部分にあつたとき凶。西の玄関は体裁や見栄にこだわり堅実な生活や貯蓄がしにくくなる。



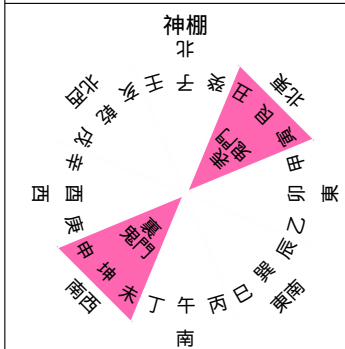
階段はどの方位も吉相にはならないが、せめて凶相を避ける。家の中心近くに階段を設けるならゆとりのある構造とする。北に玄関があり、すぐに階段があれば、階段が凶意を運び家族が病気がちになる。



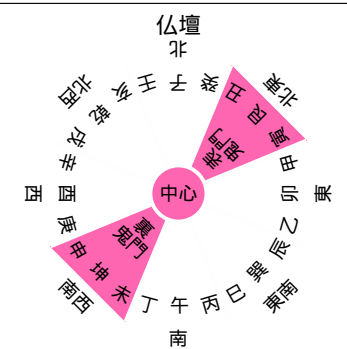
家相上、凶相となる方位はないが、注意するのは火気の位置。正中線・四隅線上にストーブやコタツなど暖房器具があれば凶相に転ずる。ただし、暖房器具でも暖められない電気式を避く。



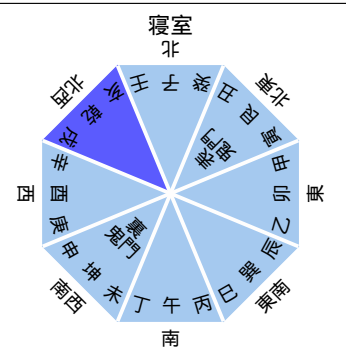
応接室はどこにあつても凶相にはならない。北東や、南西に応接室をつづれば鬼門の凶意をおさえる効果がある。鬼門線の上に開口部を設けず。また、火気には十分注意する。



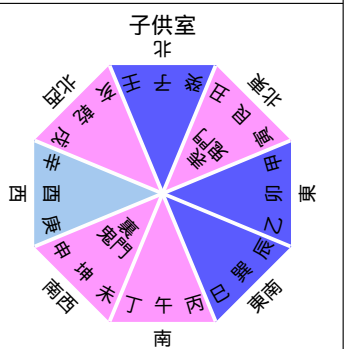
人間らしい感謝の気持ちをおこす神棚や仏壇を置くのは吉相。神棚の面を向ける方位は、東、東南、南が吉相。正中線や四隅線にかかっても問題なし。上階が、足で踏みつけるような廊下や部屋などにならないよう注意する。



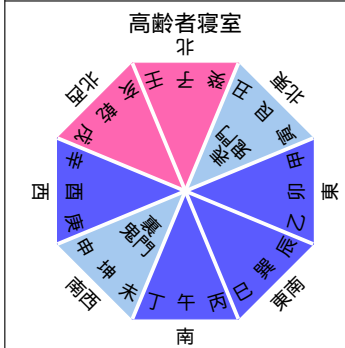
仏壇の面を向ける方位は、南、東南、東が吉相。(宗派により違ふ場合はそれに従う)仏壇の上に物をのせてはいけない。上階が、足で踏みつけるような廊下や部屋などにならないよう注意する。神棚と仏壇が向かい合つても現代家相では凶相にはならない。



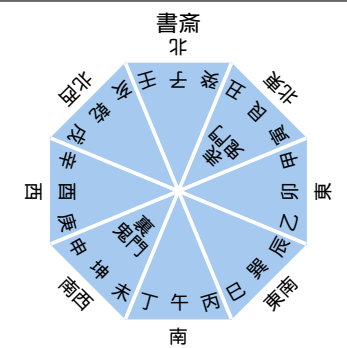
寝室は鬼門を含めてどの方位でも吉相であるが、北西の寝室は夫婦円満となり大吉相。しかし、鬼門方位に張りや欠けがあれば凶相に転ずる。また、正中線・四隅線上に開口部を設けなければいけない。



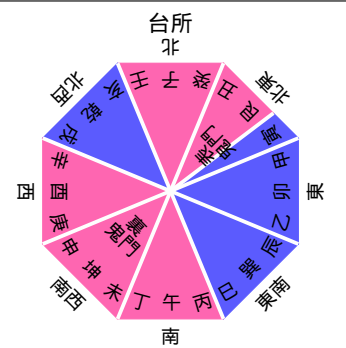
東は大吉相。西方位は西日を遮る外付けの遮蔽物など工夫すれば吉相。北東：自己中心的になりやすい。南：勉強があるそになる。南西：飽きっぽい子供になる。北西：人に敬遠される子供になる。



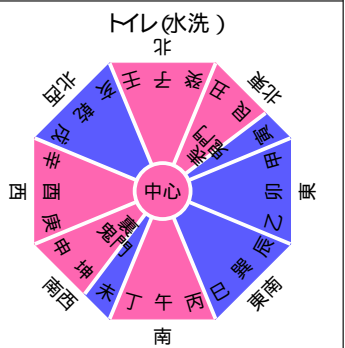
一家の中心が息子の代に移つても、祖父母が北西の部屋に居続けると息子に運が開けず凶相。凶方位でも、祖父母の十二支生まれ星があれば凶にはならない。北東と南西の鬼門方位につく場合は張りや欠けをつくると凶相に転ずる。



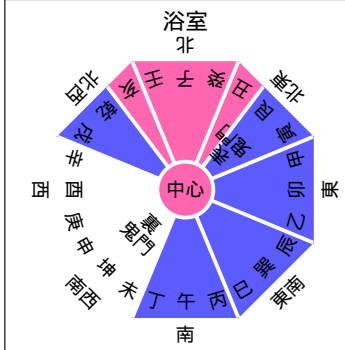
書斎はどの方位でも吉相。あつたの難し。鬼門へもつてきても良い。ただし、寝室やリビングなどに付帯するゆゆる書斎コーナーは含まず。火気には十分注意すること。



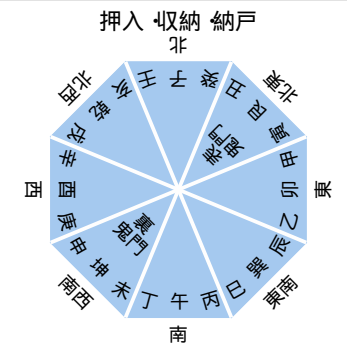
主婦と長女の十二支生まれ星方位を避ける。安全な方位の寅方位も星方位があれば凶相に転ずる。流し台からでる汚水枘や浄化槽などの不浄と窓を向き合わせる凶相。



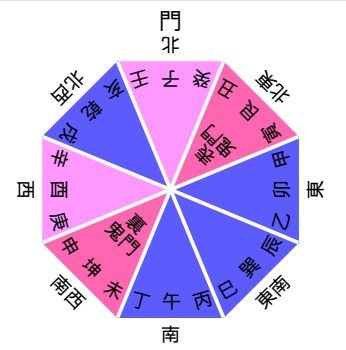
正中線・四隅線上に便所本体がかからないようとする。便所の隣に神仏は凶相。便所の外部近辺に池があれば大凶相。玄関・神仏の上に便所があると凶相。



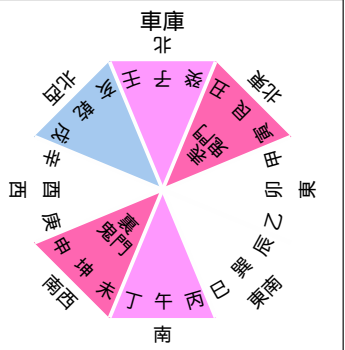
火気が浴室にある場合(風呂釜など)や、不浄である水を貯め置きそのまま放置すると北東・南西(いわゆる鬼門)も凶相になる。正中線・四隅線が火気にかからないようにする。窓は大きくしかりとこと。



収納はどの方位も凶相にはならないが、北・北西・北東に配置する場合は、通気を良くする工夫をする。カビが生えたり凶相。腐敗した物や漬物物を収納する場合は凶相に転ずる。神仏の上に収納部を配置すると良い。



道路との関係が難しいが、吉相にならなくても凶相にはならない。吉相でも主人の十二支生まれ星方位だったら凶相。



車庫はどの方位でも吉相にはならない。建物の一部が車庫は凶相(強制換気等の処置をする)。車庫の上が居室等であればその部屋は凶相。車庫と家の間に池があるのは大凶相。